

元気に敬老の日を祝う -自治会・シニアクラブ共催-

9月13日(土)北小学校の体育館で恒例の「敬老の集い」が、来賓に北小の本村校長先生、瑞雲中の喜多野校長先生、熊野副校長先生をお迎えして盛大に開催されました。

今年は139名が参加。出身都道府県別のテーブルに着いた参加者はお国ことばに故郷を思い出し楽しい時間を過ごしました。アトラクションでは、「民謡の会」「唱歌・童謡の会」の人達



の歌声に会場の皆さんが唱和して大いに盛り上がりました。またお楽しみの大抽選会ではご夫妻で入賞される方がでるなど会場を沸かせました。今年「喜寿」を迎えられたお二人の方に自治会から記念品が贈られるセレモニーもあって、2時間半の会がすごく短く感じられ、名残惜しみながらもまた来年も元気に会えることを約束してお開きとなりました。

また、昭島警察署から署員に来ていただき、集いの初めに交通安全、防犯についての講話をしていただきました。特に『オレオレ詐欺』の実態をお話頂き、お互い注意を呼びかけました。

「敬老の日」アラカルト

敬老の日は1947年兵庫県八千代町の門脇町長(当時)が発案、1954年に国の祝日に制定されました。



総務省の発表によると、日本の総人口の2.1%、2819万人が65歳以上の世代だそうです。我らの昭島市でも総数112,844名のうち21,782名が65歳以上、これは人口の19.3%にあたります。これからの時代、このパワーを活用しない手はない、積極的に外に出て、今までの経験をおおいに活かし社会との繋がりを持ちたいものです。